

私は、県議を引退します。私に倍するご支援を

しまぶく 恵祐さんへお寄せください

日本共産党

事務所 沖縄市宮里1-14-7
電話 098-989-5320

7月28日、県議をつとめてきましたが、健康上の理由で引退します。これまでのご支援に感謝します。

私に代わり、若い力33歳・しまぶく恵祐さんが県政に挑戦します。ぜひ県政に送っていただきますよう、心から訴えます。

県議 嘉陽宗儀

新基地建設許さぬ力に

私は政治家として、「基地のない平和な沖縄」をめざしてきました。

普天間基地の返還をうたった1996年のSACO合意に、「心より歓迎」と他党派が言っていたとき、私たち日本共産党は「米軍基地の県内たらい回し」と反対を表明し、普天間基地の無条件返還をかけたました。

復帰運動に学んで

私は教員時代、高教組の書記長として、祖国復帰運動や三大選挙に参加。「施政権返還」を実現したとき、「日米両政府の壁は、県民のたたかいで打ち破ることを実感しました。

いま、安倍自公政権は新基地建設工事を強行しましたが、軟弱地盤で行き詰まっています。

「オール沖縄」と県民の共同こそ、新基地建設許さぬ確かな力です。

5年前、知事選に出馬した故翁長雄志さんと二人三脚で、県議補選をたたかったのが、しまぶく恵祐さんです。沖縄市で「オール沖縄」が多数になるかどうかは、しまぶく恵祐さんにかかっています。私に倍するご支援をお寄せください。

無料相談43年、「困っている人を助ける」

私は、1975年、県道20号線のつぶれ地買い上げ問題を解決したのをきっかけに、無料相談をはじめ、79年に無料相談所を開設しました。

あい、命がけで姉妹を取り戻したこともありました。

10人の子を育てた母が原点

「困っている人を助ける」——お金のあるなしに関係なく、困りごと、悩みことの解決にあたり、年間約2千人が相談に訪れていました。東京にあこがれて姉妹2人で上京したが、暴力団に捕り、一人は麻薬関係の仕事に、もう一人はキャバレーで働かされてしまい、連れ戻して欲しいという相談がありました。沖縄から東京の暴力団に直接かけ

私が幼少の頃、父が借金取りに苦しめられ、農薬を飲んで自殺したいと口走ったとき、母が「この子どもたちをどうする。あんたは死にたければ死になさい。どんなことがあっても子どもを育てるから」と喝きました。

10人の子どもを育てた母の姿こそ、困っている人を助ける私の原点かもしれません。

「当たり前事が通る政治を」

いま新型コロナウイルス、消費税10%など政治が社会的に立場の弱い人々に、重くのしかかり、憲法25条の健康で文化的な最低限度の生活を営む権利(生存権)すら、脅かされています。

住民の苦難軽減こそ、日本共産党の立党の精神です。

私のあとつぎしまぶく恵祐さんが、無料相談所を高原に開設しました。「当たり前事が通る政治を」——私の思いを、しっかり引き継いでくれると確信します。

「オール沖縄」へ運動を広げ

その後、名護市への新基地建設の計画が明らかになり、以来、私は辺野古に通い続け、県民の運動を議会内外で激励してきました。

翁長県政実現へ、建白書(オスプレイの配備撤回、普天間基地の閉鎖撤去、県内移設断念)の立場で、党派をこえて、力をあわせました。

「オール沖縄」へと発展し、私は党県議団長として、これを支えてきました。

沖縄民報

2020年4月5日号外
発行：日本共産党沖縄県委員会
那覇市泊2-2-407
電話098(98)220000

日本共産党の見解と県議選の予定候補者を紹介します。



常連さんも来ない。休業しても家賃がかかるし補償を。

マスク2枚より、医療機関へ支援を。



売上は激減。清明祭の重箱やオードブルがキャンセルが相次ぐ。収束を。

コロナ対策

消費税5%へ緊急減税を

自粛と一体で補償を



コロナ対策を市へ申し入れ

しまぶく 恵祐 日本共産党

沖縄市長 桑江 朝千夫 殿

日本共産党県会議員
日本共産党沖縄市議団
日本共産党中部地区委員長
日本共産党新型コロナウイルス対策本部

2020年4月16日
嘉陽宗儀
前宮美津子
千葉巧
島袋恵祐

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ

新型コロナウイルスの感染者が本市においても発生している状況のもと、貴職を先頭に対策本部を立ち上げ、最善の対策を行っていることに敬意を表します。今後、さらに感染者が増えることが予想されるため、日本共産党として、市民の生命と健康を守り、生活と経済への影響を最小限に抑えるために、下記について緊急に申し入れを行います。

記

1 一人10万円給付は日本在住すべての人へ早く
2 医師が必要と判断したら速やかに検査が受けられる体制を

3 自粛で影響を受けた人へコロナ収束まで継続的な補償を

○米軍基地内・米兵のコロナ情報の開示と、国や県の感染防止対策を遵守するように求める。

○PCR検査センターを各地につくり、必要な人を速やかに検査する体制を。
○介護・福祉施設での感染防止、事業所の受けている損失と負担を補償。

○国保料の緊急減免をはじめ、税・社会保険料の減免、消費税の延納。
○アルバイトによる収入減など学生も支援対象に。

みなさんの声をお聞きます。お困り事はご相談ください
電話098-989-3247 高原5-1-1島田ビル1F 101号



いま、私たちは新型コロナ対策へ全力をあげています。沖縄市ですぐ行動する若い力33歳・しまぶく恵祐さんと、いっしょにがんばります。

県知事 玉城デニー

